

## 平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成30年 4月17日（火）

2 調査対象 第3学年生徒29名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語A，国語B 数学A，数学B，理科）

Aは主として「知識」に関する問題，Bは主として「活用（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力）」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A（主として知識に関する問題）は，おおむね全国平均と同程度でした。国語B（主として活用に関する問題）は，全国平均を下回りました。

数学A（主として知識に関する問題），数学B（主として活用に関する問題），理科はともに，全国平均を下回りました。

(2) 生徒質問紙調査

### 成果が見られた項目

- 「家で，学校の授業の予習・復習をしていますか」「家で予習・復習やテスト勉強などの自主学習において，教科書を使いながら学習していますか」に対して，している，どちらかといえば，していると肯定的に回答した割合が高いです。
- 「地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えたことがありますか」に対して，当てはまる，どちらかといえば，あてはまると肯定的に回答した割合が高くなっています。

### 課題が見られた項目

- 「自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」「生徒の間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか」に対して，そう思う，どちらかといえばそう思うと肯定的に回答した割合が低くなっています。
- 「調査問題の解答時間は十分でしたか」において，どの教科においてもやや足りなかった，全く足りなかったと回答した割合が高いです。
- 「1日当たりどれぐらいの時間，読書を読みますか」において，全くしない，30分未満と回答した割合が高いです。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では，国語では話す・聞く力，数学では関数・資料の基本的な内容や活用，理科では知識や技能を活用して考える力に課題が見られました。そこで，基礎的・基本的な内容の定着を図りながら，次の点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 目的を明確にした話し合いを取り入れるなどして自分の考えを発表することができる機会を多く設定します。
- ・ 数学においてはTTでの指導を継続するなどして，分かる授業を実施します。
- ・ 家庭学習の手引きや家庭学習スタンダードを活用しながら，家庭学習の習慣化を図ります。

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて，次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- ・ テレビやゲーム，スマホのルール化。早寝・早起き・朝ごはんの習慣化。
- ・ 家庭で読書する習慣作り。
- ・ 地域行事への積極的な参加。